

邦人安全対策連絡協議会

「救急蘇生法」

平成25年12月7日

在ケニア大使館 医務官

宮村治男

救急蘇生のABCD

- いかなる状況でもまず**生きているのか否か**を確認する。
- 脈が触れ、呼吸があれば焦る必要はない。
- 無呼吸で脈が触れなければ蘇生術を開始。

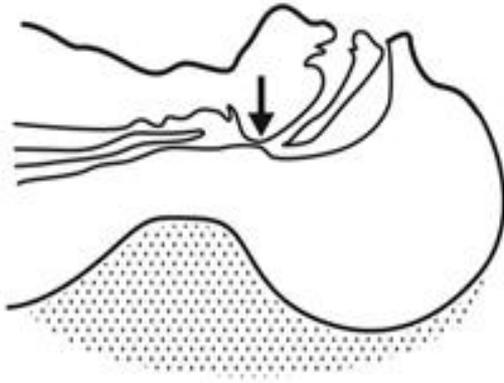
A: Airway (気道の確保)

B: Breathing (人工呼吸)

C: Circulation (心臓マッサージ)

D: Defibrillation (除細動)

A. 気道の確保



B. 人工呼吸



C. 心臓マッサージ

- 1分間100回、胸骨の上を両手で圧迫する
- 人工呼吸は不要、出血している患者は不可



心臓マッサージ

- 両肘を伸ばし、自己の体重をかけるようにして強く圧迫する。

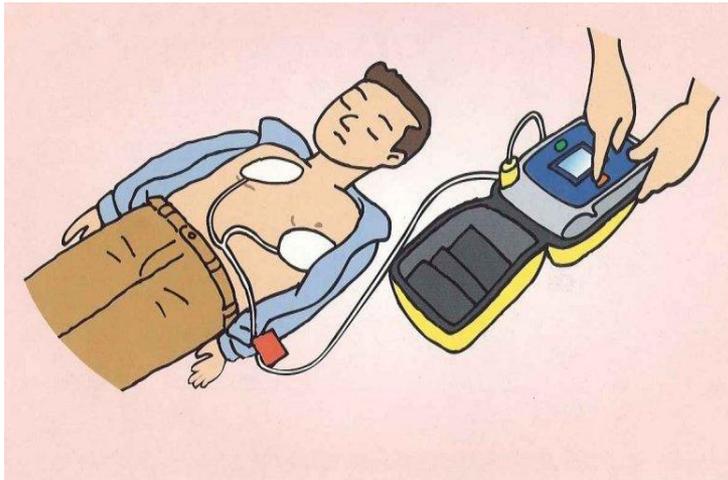
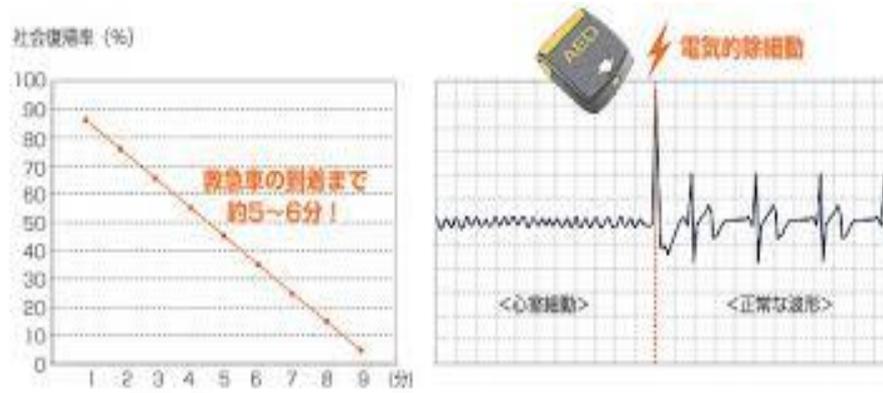


D. 除細動

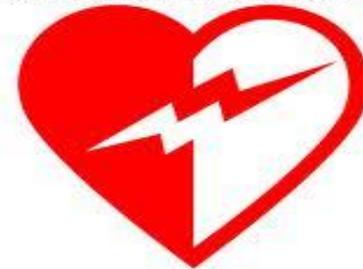
- 心臓の筋肉が痙攣している状態を心室細動という。電気ショックを与えて、心臓の調律を正常に戻す事を「除細動」と呼ぶ。
- 除細動は早ければ早いほど救命率が上がる。



除細動



AED
Automated External Defibrillator



自動体外式除細動器